

## ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2017年7月3日

【2017年6月24日～2017年6月30日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。2年国債金利は低下しました。

6月26日(現地)、ブラジルの検察当局が収賄の容疑でテメル大統領を最高裁判所に起訴したと報道されました。報道によると、ブラジルの大手食肉加工会社から賄賂を受け取った嫌疑が大統領にかかっています。テメル大統領はこれらの疑惑を一貫して否定しており、大統領職を続投する意思を示しています。報道後の金融市場は小幅下落に留まり、影響は限定的でした。

上院委員会において、労働改革法案の採決が行われ、賛成多数となったことで、上院本会議での同法案の可決に楽観的な見方が広がったことなどがレアルの上昇要因となりました。また、CMN(国家通貨審議会)において、2019年と2020年のインフレ目標が引き下げられたことが金利低下に寄与しました。

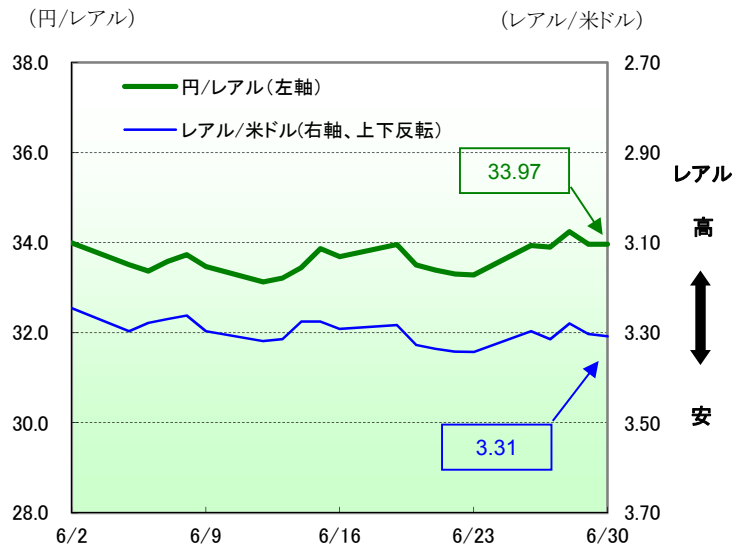
### 【2】今週の見通し

今週は、インフレ率などの経済指標が発表されます。インフレ率の上昇は抑制されることが見込まれています。

テメル大統領の起訴を受けて、連立政権内部の政党が政権を離脱する動きが強まる恐れや、社会保障改革法案の内容が後退する懸念などもあり、政局には変化が生じやすく、今後の進展を見守る必要があると考えています。

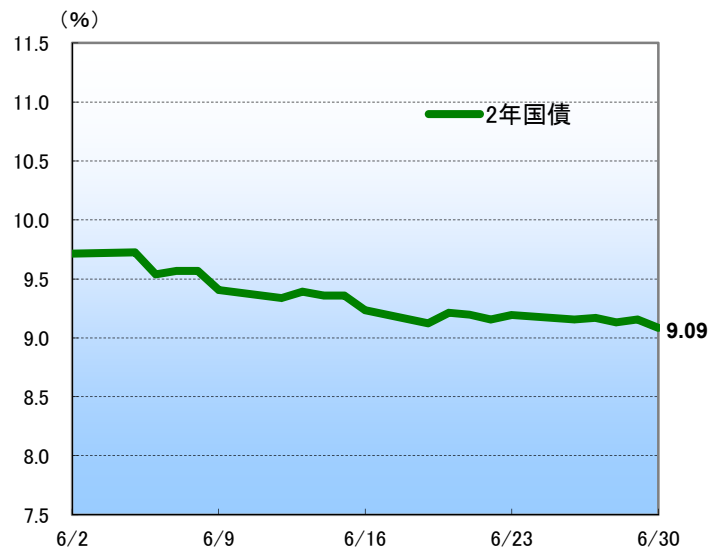
市場で注目されている年金改革を含む社会保障改革法案ですが、政局の混乱により、採決は遅れる見通しです。しかし、政府が財政健全化をはじめとした構造改革を着々と進める場合には、ブラジル経済に対する信認改善が、景気回復につながり、レアルを下支えすることが期待されます。

【ブラジル・レアル 為替推移】(2017年6月2日～2017年6月30日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】(2017年6月2日～2017年6月30日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management